

児童通所支援サービス利用にあたっての状況確認事項

お子様の心身の状況について以下の項目にお答えください。

年齢的に不可項目がある場合でも、現時点においてできるかできないかをご回答ください。

1. 食事

- 一人で食べることができる
- 見守りや声かけがあれば食べることができる
- 一部支援が必要である
- 常に支援が必要である

2. 排泄

- 一人でトイレに移動して排泄することができる
- 見守りや声かけがあればトイレに移動して排泄することができる
- 一部支援が必要である
- 常に支援が必要である

3. 入浴

- 一人で入浴することができる
- 見守りや声かけがあれば入浴することができる
- 一部支援が必要である
- 常に支援が必要である

4. 衣服の着脱

- 一人で衣類の着脱ができる
- 見守りや声かけがあれば衣服の着脱ができる
- 一部支援が必要である
- 常に支援が必要である

5. 感覚器(聞こえ)

- 特に問題なく聞こえる
- 補聴器などの補助装具があれば聞こえる
- 聞き取りにくい音がある／過敏等で補助装具が必要である
- 音や声を聞き取ることが難しい

6. 感覚器官(口腔機能)

- 噛んで飲み込むことができる
- 軟らかい食べ物を押しつぶして食べることができる
- 介助があれば口を開き、口を閉じて飲み込むことができる
- 哺乳瓶等を使用している／口から食べるのが難しい

7. 姿勢の保持(座る)

- 一人で座り、手を使って遊ぶことができる
- 手で支えて座ることができる
- 身体の一部を支えると座ることができる
- 座るために全身を支える必要がある

8. 運動の基本技能(目と足の協応)

- ケンケンが3回以上できる
- 交互に足を出して階段を昇り・降りできる
- 両足同時にジャンプし、転倒せずに着地できる
- 階段は同じ足を先に出して昇る
- どの動きも難しい

9. 運動の基本的動作(移動)

- 一人で歩くことができる
- 一人で歩くことはできるが近くでの見守りが必要である
- 一人で歩くことができるが、手をつなぐなどのサポートや杖、保護帽などの補助具が必要
- 一人で歩くことが難しい

10. 危険回避行動

- 自発的に危険を回避することができる
- 声かけ等があれば危険を回避することができる
- 危険を回避するためには支援者の介入が必要である

11. 注意力

- 集中して取り組むことができる
- 部分的に集中して取り組むことができる
- 集中して取り組むことが難しい

12. 見通し(予測理解)

- 見通しを立てて行動することができる
- 声かけがあれば見通しを立てて行動することができる
- 視覚的な情報があれば行動することができる
- その他の工夫が必要

13. 見通し(急な変化対応)

- 急な予定変更でも問題ない
- 声かけがあれば対応できる
- 視覚的な手掛かりがあれば対応できる
- その他の工夫やサポートが必要

14. その他

- 乱暴な言動はほとんどみられない
- 乱暴な言動がみられるが対処方法がある
- 乱暴な言動がみられ、対処方法も特にならない

15. 2項関係(人対人)

- 目が合い、微笑むことや嬉しそうな表情をみせる
- 訴えている(要求する)時は目が合う
- あまり目が合わない／合っても持続しない
- ほとんど目が合わない

15. 2項関係(人対人)

- 目が合い、微笑むことや嬉しそうな表情をみせる
- 訴えている(要求する)時は目が合う
- あまり目が合わない／合っても持続しない
- ほとんど目が合わない

16. 表出(意思の表出)

- 言葉を使って伝えることができる
- 身振りで伝えることができる
- 泣いたり起こったりして伝える
- 意思表示が難しい

17. 読み書き

- 支援が必要
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

18. 人との関わり(他者への興味関心)

- 自分から働きかけたり、相手からの働きかけに反応する
- ごく限られた人であれば反応する
- 自分から働きかけることはほとんどないが、相手からの働きかけには反応することもある
- 過剰に反応する、または全く反応しない

19. 遊びや活動(トラブル頻度)

- ほとんどないか、あっても自分たちで解決できる
- トラブルがあっても、大人の支援があれば解決できる
- 支援があっても解決できる場合とできない場合がある
- トラブルが頻繁に起き、解決することも難しい

20. 集団への参加(集団参加状況)

- 指示やルールを理解して最初から最後まで参加できる
- 興味がある内容であれば部分的に参加できる
- 支援があればその場にはいられる
- 参加することが難しい

未就学のお子様についての確認事項は以上です。
小学生以上のお子様については4ページ以降の
質問へ続けてご回答ください。



※ここから以降の質問は、小学生以上のお子様についてお答えください。

23. 日常生活の状況

- | | | | |
|----|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 食事 | <input type="checkbox"/> 介助なし | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 |
| 入浴 | <input type="checkbox"/> 介助なし | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 |
| 排泄 | <input type="checkbox"/> 介助なし | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 |
| 移動 | <input type="checkbox"/> 介助なし | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 |

24. コミュニケーション:他者に対して自分の意思を伝えることに、どの程度支援が必要ですか

- 支援不要
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

25. 説明の理解:他者からの説明の理解に、どの程度支援が必要ですか

- 支援不要
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

26. 大声・奇声を出す:周囲が驚いたり、他者が迷惑になるような大声を出すことがあり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 大声・奇声を発することはない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

27. 異食行動:食べられないものを口に入れてしまうなどの行動があり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 異食行動はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

28. 多動・行動停止:日常生活の行動上、多動や動かなくなることがあり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 多動・行動停止はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

29. 不安定な行動:日常生活において、不安や恐怖による衝動的な行動があり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 不安定な行動はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

30. 自らを傷つける行為:自分の体を叩いたりするなどの自分の体を傷つける行為があり、支援がどの程度必要ですか

- 自分を傷つける行為はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

31. 他人を傷つける行為:他人を叩くなど他人を傷つける行為があり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 他人を傷つける行為はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

32. 不適切な行為:興味や関心が優先したり、適切な意思表示ができないなどにより不適切な行為があり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 不適切な行為はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

33. 過食・反すう等:過食や拒食など食に関する行動上の問題があり、支援や配慮がどの程度必要ですか。

- 過食・反すう等の行動はない
- 支援や配慮が必要な場合がある
- 常に支援が必要

34. てんかん:てんかんの診断があり、支援が配慮がどの程度必要ですか

- てんかんの診断はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

35. そううつ状態:そううつまたはそのどちらかがあり、考えがまとまらないなど、日常生活に支障をきたしており、支援や配慮がどの程度必要ですか

- そううつ状態はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

36. 反復行動:特定の行為を反復するなどにより、日常生活に支障をきたしており、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 反復行動はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

37. 対人面の緊張・集団への不適応:人との関係で緊張状態になり、集団生活の場面に参加できないなどにより、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 対人面の緊張はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

38. 突発的な行動:関心が強い物は人に対し、突然走り出すなどの行動があり、支援や配慮がどの程度必要ですか

- 突発的な行動はない
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

39. 読み書き:文字を読むことやかくことについての支援や配慮がどの程度必要ですか

- 支援不要
- 支援が必要な場合がある
- 常に支援が必要

40. (中学生・高校生のみ)コミュニケーション:言葉使い

- 適切な言葉使いや態度で表現することができる
- 時折、適切な言葉使いや態度で表現することができる
- ほとんど適切な言葉使いが態度で表現することが難しい

41. (中学生・高校生のみ)コミュニケーション:やりとり

- やりとりをすることができる
- 配慮があればやりとりができる／やりとりをしようとする
- やりとりをすることが難しい

42. (中学生・高校生のみ)コミュニケーション:集団適応力

- 参加することができる
- たまに参加することができる
- ほとんど参加することがない
- 参加することが難しい

質問は、以上です。
ご協力ありがとうございました。

